

科目名	がん看護学実習Ⅲ(がん看護実践実習) Oncology Nursing PracticeⅢ
授業形態	実習
標準履修年次	2年次
実施学期・曜時限等	春AB学期 応談
実施場所	実習施設(筑波大学附属病院、国立がん研究センター東病院等)
単位数	2単位
担当教員名	山下美智代 Yamashita Michiyo 水野道代 Mizuno Michiyo 牟田理恵子 Muta Rieko
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	
オフィスアワー等	事前に予定を確認の上で訪室すること
授業の到達目標 (学習成果)	がん看護専門看護師の役割(相談・調整・教育・倫理調整)を実践できる。
他の授業科目との関連	
履修条件	専門看護師養成プログラム(がん看護)の受講者であること。
授業概要	専門的能力を有する看護師および大学教員の指導のもと、専門看護師としての役割を体験する実習を行う。
キーワード	役割の統合、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究
授業計画	1 先進的ながん医療を実施し、がん患者を相当数受け入れている施設にて実習を行う。 2 専門看護師の6つの機能のうちの1つまたは2つに焦点を当てた援助プログラムを作成し実施する。 3 実習日毎に、援助プログラムの実施・進行状況を記録し、その内容を分析した後、がん看護専門看護師が果たすべき機能の側面から考察をおこなう。 4 常に援助プログラムの実施状況を振り返りながら実習目標の達成に向け実習計画の修正を行う。 5 がん看護学実習Ⅲの実践内容については、実習要項の書式に従い、その成果を報告する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	実習期間にとらわれることなく、実習施設等のがん看護に関連する医療活動に関わる機会を積極的にもつことも必要である。
成績評価方法	実習計画書の作成、実習計画書にもとづいた実習、最終レポートの提出とする。 評価方法と評価配分 実習目標の達成度70%、カンファレンス10%、最終レポート20% 評価基準 1 看護科学特別実習およびがん看護学実習Ⅰ・Ⅱで習得してきた知識・技術と専門看護師の役割を統合させ、がん看護専門看護師として、がん看護に携わる看護師の相談、教育、調整、倫理調整、臨床研究指導について実践的な計画を立案し実施する。 2 実施した内容を科学的に評価し、計画を改善することができる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1、2を自身で達成、評価し、新たな自己の課題を明確にできる A 上記1、2を自身で達成し、自己および他者評価も踏まえた上で、達成度を評価できる B 上記1、2をほぼ自身で達成できる C 上記1、2を教員の指導を受けながら概ね達成できる D 上記1、2について教員の指導のもとでも達成できない
教材・参考文献・配布資料等	これまでの学習において使用した著書や文献を各自で効果的に活用すること。
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	関連著書や論文を十分に活用し、積極的・主体的に実習に臨むこと。